

令和3年度 OAC ミニフォーラム アンケート結果

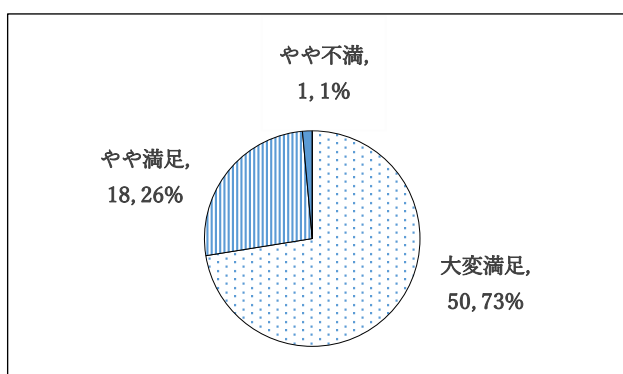
- 開催日：令和3年12月8日（中ブロック）、12月20日（東ブロック）
令和4年1月24日（北ブロック）、1月28日（南ブロック）
- 参加者数：128名（中：28名、東：37名、北：41名、南：22名）
- アンケート回答数：69名

1. 参加者の所属機関について

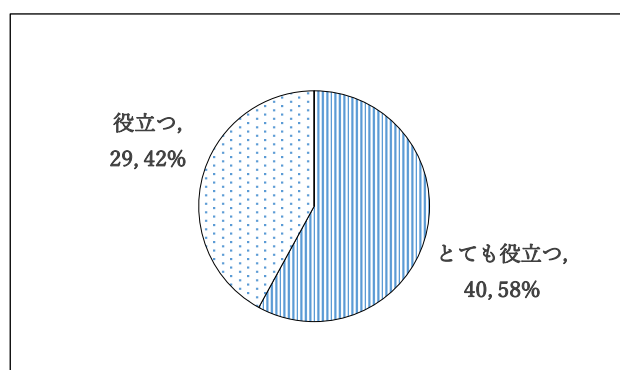
所属機関	参加者数	割合
保健所	27	21.1%
市町村	12	9.4%
政令市	4	3.1%
医療機関	9	7.0%
相談支援事業所	10	7.8%
居宅介護支援事業所	7	5.5%
就労移行支援事業所	1	0.8%

所属機関	参加者数	割合
社会福祉協議会	2	1.6%
地域包括支援センター	13	10.2%
薬剤師会	1	0.8%
司法書士会	5	3.9%
回復施設	3	2.3%
民間支援団体	3	2.3%
自助グループ	31	24.2%
計	128	100.0%

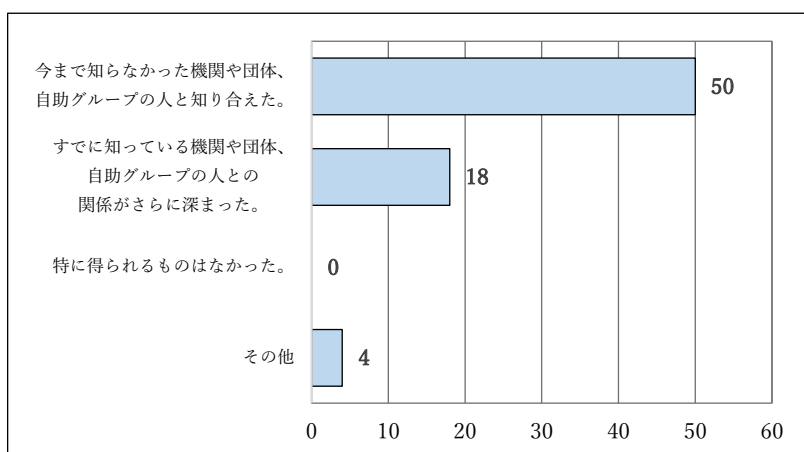
2. 満足度について



3. 今後の連携に役立つか



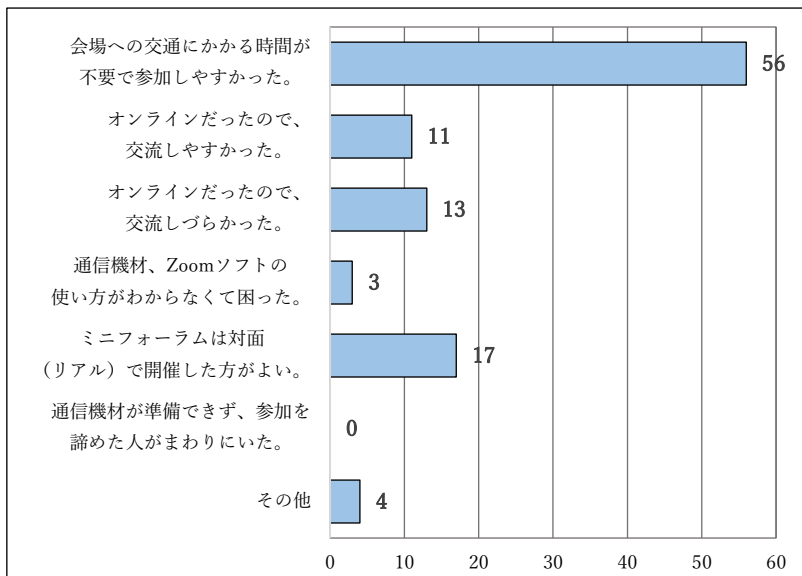
4. 顔の見える関係づくりについて（複数回答）



<その他内容> ※主なものを抜粋

- ・業務内容について理解が深まった。
- ・色々な自助グループの話が聞けた。
- ・直接体験談を聞くことで、依存症に対するイメージが変化した。

5. オンライン開催について（複数回答）



<その他内容> ※主なものを抜粋

- ・マイクの調子がよくなかった。
- ・オンラインでグループワークは難しかった。
- ・グループワークの時間が短かった。

6. 全体の感想について ※主なものを抜粋

- ・当事者、家族の体験談を聞くことで、回復のイメージを持つことができた。
- ・治療や自助グループにつながることの大切さを理解すると同時に、つながり続けることの難しさを感じた。
- ・様々な立場で経験や意見を交換することができ、とても刺激になった。
- ・関係機関の方と顔が見える状況で交流ができ、よかった。
- ・相談できる場を知り、様々な介入方法を考えることができた。
- ・グループワークの時間がもっとあればよかった。
- ・体験談への反応や交流した感覚が、対面時よりも少なく、オンラインでの難しさを感じた。

7. 今後 OAC の活動で取り組んでほしいことについて ※主なものを抜粋

- ・コロナが落ち着いたら、対面で開催してほしい。
- ・他の地域の話も聞いてみたい。
- ・参加者、団体から、さらに情報を得たり、連絡を取り合える手段の案内や仲立ちをしてほしい。
- ・自助グループ体験ツアーをしてほしい。